

平成23年

夏の交通安全運動

7月15日(金)～7月24日(日) 北海道実施要綱



運動の 重点

- 子どもと高齢者の交通事故防止
- 二輪車・自転車乗用中の交通事故防止
- 居眠り運転による交通事故防止
- 全ての座席のシートベルト・チャイルドシートの正しい着用
- 交差点の交通事故防止

全道統一行動日／7月15日(金) セーフティコール

● 主催 ●

北海道、北海道警察、北海道教育委員会、札幌市、市町村、公益社団法人 北海道交通安全推進委員会
財団法人 北海道交通安全協会、社団法人 北海道安全運転管理者協会

年間スローガン

ストップ・ザ・交通事故死

《めざせ 安全で安心な北海道》





運動の目的

交通安全を自らのことと捉え、交通ルールの遵守や思いやりのある交通マナーの実践が主体的に行われるよう、道民一人ひとりの交通安全意識の高揚を図る。

運動の進め方

道、道警察、市町村、関係機関・団体等は緊密に連携し、体系的かつ効果的な交通安全運動を展開するとともに、参加・体験・実践型の交通安全教育を推進する。

通年運動 7大セーフティキャンペーン

- 高齢者事故防止
- シートベルト全席着用
- 自転車走行・交差点通行マナーアップ
- スピードダウン
- デイ・ライト実践 
- 飲酒運転根絶
- 居眠り運転防止 

運動の重点

子どもと高齢者の交通事故防止

運転者は

子どもや高齢者を見かけたら、徐行するなど思いやりのある運転をしよう。

高齢者は

参加・体験型の講習会などに積極的に参加し、自分の身体機能の変化を認識し、安全な行動を実践しよう。

家庭では

子どもと一緒に通学路等を歩くなどして、交通ルールの手本を示し、マナーを身につけさせよう。

学校等では

登下校時間帯に通学路での交通安全指導を徹底しよう。

地域では

交差点などで、子どもや高齢者を見かけたら声をかけ、安全な横断を手助けしよう。

二輪車・自転車乗用中の交通事故防止

運転者は

交差点等では、歩行者だけでなく、二輪車や自転車の有無もしっかり確認しよう。

自転車利用者は

自転車に乗るときは、車道では車の動きに注意して、歩道では歩行者優先を守り、運転しよう。

家庭では

子どもを自転車に乗せるときは、ヘルメットを着用させよう。

学校等では

自転車の通行方法や夜間における前照灯の点灯など、自転車の正しい利用の仕方を身につけさせよう。

地域では

二輪車・自転車の安全な乗り方について街頭啓発等を実施するとともに、自転車の危険な乗り方を見かけたら注意しよう。

居眠り運転による交通事故防止

運転者は

長時間の無理な運転はしないで、運転2時間に1回以上の休憩をとろう。

家庭では

睡魔を感じたら安全な場所で短時間の仮眠をとるなどし、無理な運転はしないよう話し合おう。

学校等では

運転するときには、しっかりと眠気を覚まして運転するよう指導しよう。

職場では

疲労や睡眠不足にならないよう体調管理に気をつけて、ベストコンディションで安全運転を実践しよう。

地域では

眠気を起こしやすい単調な道路などで、啓発活動を実施し、事故防止を呼びかけよう。

全ての座席のシートベルト・チャイルドシートの正しい着用

運転者は

全ての座席の同乗者全員に、シートベルトとチャイルドシートを正しく着用させよう。

家庭では

出かけるときは、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しているか、みんなで確かめよう。

学校等では

全ての座席のシートベルトとチャイルドシート着用の必要性について理解してもらい実践するよう指導しよう。

職場では

職場ぐるみで、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用100%を徹底しよう。

地域では

シートベルトとチャイルドシートの着用効果について啓発しよう。

交差点の交通事故防止

運転者は

交差点やその付近は、事故多発地帯であることを認識し、特に注意して運転しよう。

家庭では

交差点などにおける安全な歩行や走行について、家族みんなで話し合おう。

学校等では

交差点では交通事故が多いことを認識してもらい、特に注意して歩行・横断するよう指導しよう。

職場では

交差点やその周辺を走行するときは、特に注意して走行するよう指導しよう。

地域では

交差点やその周辺において交通事故防止を呼びかける街頭啓発を実施しよう。

のんびり いこうや 北海道